

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31 年 2 月 18 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100017		
法人名	有限会社 ウェルケア		
事業所名	グループホームやすらぎ温品		
所在地	〒732-0033 広島市東区温品七丁目13-23 (電話) 082-508-6188		
自己評価作成日	平成31年1月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100017-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年2月15日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「法人理念」「好縁会生活づくり10カ条」を基に、個別重視のサービスを提供しております。ホーム内の生活環境の調整、また地域でも生きがいや役割をもって生活ができるよう積極的に外出支援行事・個人のQOLに合わせた個別支援・地域行事参加など様々なアプローチで支援しております。また、職員は内部・外部研修へ励み知識と技術向上を。各委員会では、年間スケジュールをたてることでタイミングに合わせた改善改革をしております。「褒めること」「認め合うこと」「助け合うこと」を大切にして相互理解へつながり働きやすい職場環境を意識しあっています。人は仲間と交流することによって生活を生き活きとしたものにし、毎日の生活行為を積み重ねることで廃用性の障害を防ぐことができます。利用者様にとって生活行為そのものが、大切なリハビリであるため、できるだけ心身ともに活動的な「生活の場」を目指し支援しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>この1年間の特徴的な取組みとして第一に、「職員を育てる取組み」の深化がある。職員の年齢層も若いため、気づく事の重要性や自発的な取り組みができる職員育成に取り組んでいる。即ち、委員会体制を再編し、各委員会の増員や兼務をすることで多様な視点と各職員の負担軽減を図り、効率的な運営に繋げた。例えば、医療連携・事故対策委員会による訪問歯科との意見交換により口腔ケア技術が向上した結果、今年のインフルエンザ罹患ゼロに結実した。第二に、「本人と共に過ごし支えあう関係・事業所の力を活かした地域貢献」の深化がある。即ち、地元新聞にて認知症のBPSD（周辺症状）に対する3次予防について事業所での取り組みの取材を受け、地域住民や世間一般の人々に対して認知症に対する理解と対応の深化を情報発信した結果、家族会からも「ここに入れてよかった」との評価を受けるに至った。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	経営理念（高品質、誠実、謙虚、向上心）、行動指針、好縁会生活づくり10カ条を基に、管理者と職員はその意図を共有し実践している。事業所内目標として接遇面や相互に思いやる心を育むことに力を注ぎ、事業所全体のスキルアップとサービスの質へ反映させている。	法人の理念・目標の下に事業所の年間重点方針の策定と定期的検証を行い、朝礼で経営理念と3委員会を設定した月間目標を唱和し、その目標は毎日使用する洗面台に掲示して意識付けを図っている。又、職員はチャレンジシート（法人独自の管理書式）で意欲的に取り組める年間目標を設定し、定期的な管理者との個人面談でその達成状況を検証している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	2か所の町内会へ入会し、季節ごとの地域の祭りや催し物に参加している。隣接する特養と夏祭りを開き、地域住民の方より好評を得ている。GHやすらぎ温品独自の行事でもポスター等で地域の方に呼びかけをし、地域住民参加型の行事が、築けている。畑の手入れも近隣の住民・農協との関係構築ができており、ご指導を助けに、ご利用者様と共に行えている。	日頃から近所への散歩や買い物で地域交流を深めている。2か所の町内会に加入し、亥の子・とんど祭り等の地域行事に参加したり、隣接他施設との合同夏祭りや農協による畑作支援等、相互交流もなされている。又、事業所の花火大会に地域児童の参加や亥の子祭りでの訪問等、世代間交流にも取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	中国新聞にて、BPSDや認知症予防についての取材を受ける。GHやすらぎ温品での取り組みを事例を公表し、地域住民のみならず、世間一般の方々に対して認知症に対する理解と対応を広めた。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、事業所の状況・提供しているサービス内容について報告している。入居者様の日常の様子を写真やTV上映で見てください、参加者との話し合いの機会を設けている。また、会議内で消防避難訓練を行い、ご意見・ご要望など、早急に対処・改善に努め、サービスの向上を心がけている。年期を1年とし、利用者代表として3名の入居者様も会議に参加・意見を頂いている。	会議には家族・利用者代表・学区連合町内会長・地域包括支援センター職員が毎回、近隣町内会長等が時々参加し定期的に開かれている。毎年利用者・家族代表を決め、不参加家族とは家族会・閲覧等で情報共有している。会議では現況報告や意見交換が行われ、参加者から要請もあり地域ケア会議に参加の方針である。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	東区温品出張所がすぐ近くにあり、行政への届出書類など不明な点は積極的に相談に伺い、適切なアドバイス・指導を受けるなど協力関係が築けている。又、出張所で処理扱いできない用件は市町へとりついでもらい、サービスの取り組みを伝えている。	運営推進会議には地域包括支援センター職員が参加し情報共有が図られている。近隣に東区温品出張所があり、日頃の相談や連絡を通じ協力関係を構築し、行政主催の虐待防止や集団指導研修会にも参加している。同センターから地域の認知症カフェ等の情報提供もあり、又地域ケア会議への会場提供もしている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止・虐待防止委員会、事故対策委員を設置し、定期的に全員が研修を受講。研修を基に委員会活動をし、発信・実行している。個別状況に応じたミーティングは必要時に開催し、意識の徹底と周知を行っている。玄関の施錠に関しては、夜間のみ防犯として施錠している。ベッド柵やセンサー、車椅子等、定期的に点検を行っている。また、事業所内に身体拘束排除宣言の指標を掲げている。	今回の制度改正に伴い、身体拘束の適正化に向けて委員会等の整備にも取り組み、拘束例はない。日中は玄関を施錠せず、玄関の開閉を感知するセンサーによる見守りで対応している。職員に対するストレスケアや利用者によっては夜間赤外線離床センサーを設置し、拘束廃止に向けた側面支援を行う時もある。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	身体拘束廃止・虐待防止委員会を設置、その他、研修委員、事故対策委員、の3つに委員会参加型の合同会議を行い、内容としては、毎月の目標テーマを決め、取り組んでいる。3つの委員会参加により幅広い視点から議題や対策に取り組める。結果内容は、緊急回覧にて全職員で周知徹底、防止に努めている。職員のストレスから虐待に繋がらないよう、職員のストレスケアにも定期的な個別面談を中心に目を向けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	自立支援医療受給(精神通院)を利用されている認知症の方が2名おられ関係者と連絡を取りながら支援費の活用に繋いでいる。精神障害者や成年後見制度について職員は研修にて理解し、活用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書や重要事項説明書に基づいて、利用者様、御家族様の十分な説明を心掛けている。変更が生じた場合も、その都度説明し、書類をお届けしている。不安や疑問点についてもしっかりと伺い、説明をし、ご理解頂ける様にしている。誠意を持って迅速に対応出来るように心がけている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年2回の家族会を定期開催し、要望や意見を運営に反映させている。入居者様とは細やかなコミュニケーションを心がけ、どの職員とも話しやすい雰囲気作りをし、情報収集の機会を見逃さないようにしている。御家族様の面会時は積極的に声かけを行い、意見や要望を見落とさないようにしている。気持ちの良い挨拶等、話しやすい雰囲気作りを努め、忌憚のないご意見を頂いている。	利用者の意見は日々の会話の中で把握し、家族とは面会時・介護計画見直し時・運営推進会議・年2回の家族会等で利用者毎の担当職員や管理者が積極的に聴く様に努めており、申し送り等で共有している。家族からの要望で利用者衣服の収納間違いに対する是正策や生活状況の連絡を検討した例がある。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的にフロアミーティングを行い、業務に関する意見や改善点を話し合う。その議事録を回覧し、全職員で共有している。意見や改善・疑問点等をあらかじめ全職員に提出してもらい、ミーティングの議題として反映させている。ミーティング以外で気づき等あれば、職員個別BOXへメモを投函し、話し合いの場へと繋いでいる。反映の場の拡大も親睦会などを通じ話し合いを行い、意識向上としている。	定期的な職員会議・エリア会議や定期又は随時の個別面談を通して管理者は職員の意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案や個人目標の進捗状況等に対する支援体制を採っている。懸案事項に対するアンケート聴取や議題の事前徴収等により集約した意見も反映させ、リフレッシュ休暇の調整をした例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員が年度目標(チャレンジシート)を作成し、目標達成に取り組んでいる。また、評価表にて各職員の努力や実績を評価している。四半期ごとに行う個別面談では、進捗状況に合わせた課題を出し、意欲の向上へと努めている。また、管理者面談の他にフロアリーダーは職員の悩みや不安な思いをいつでも傾聴し、職員への理解を示し、ワンランク上の考え方を習慣付け、プロとしての成長をサポートしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内研修では、個々のスキルアップを目的に管理者指示のもとに参加している。法人外研修については、興味がある分野・内容を個人で調べ積極的に参加している。又、研修費補助や勤務内研修が認められ、参加しやすい体制が整っている。無理のない範囲で積極的に研修に参加する意識が芽生えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	内外の研修をきっかけに、他事業所の方と意見交換をする機会が持てた。同業者からの見学・問い合わせも受けている。ネットワークづくりについては、法人は3つのエリアに分類され、エリアごとのGHが一同に集まり、質の向上に向けての会議など行っている。また、お互いに切磋琢磨しあえるよう、広報コンテストやグッズコンテストなどで事業所の良いところを参考に吸収・向上している。		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に管理者・看護師が事前訪問し、関係作りをしている。ご本人様の不安や想いを可能な限り受け止め、少しでも不安を取り除けるよう努めている。アセスメントした情報を全職員で共有し、安心感を持って頂ける様チーム一丸となり、より良い関係作りに努め、安心感を持って頂けるよう支援している。		
----	--	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	御家族様の不安やご要望など十分に話を伺い、誠意を持って受け止め、安心してサービスを受けて頂けるよう努めている。毎月、ホームでの様子を収めた写真入りのお手紙や二ヶ月に一回、日々の写真を多く撮りいれた独自の広報誌を郵送、さらに年度毎には全ての御家族様へホームでの写真データをお渡ししている。ホーム遠方の御家族様へは郵送や電話連絡をしている。生活状況の伝達を行うことを約束し、信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	居宅支援事業所と協力連携を図り、他のサービス利用情報も可能な限りお知らせできるように努めている。又、協力機関からの有力情報やアドバイスを受け、見極めに反映させている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	可能な限り共に過ごし、寄り添い、入居様が自分らしく、主体性のある生活を送っていただけるよう、気兼ねを抱かせないいつでも感謝の心を大切にしている。まずは挨拶から始まり、ご利用者様一人ひとりを意識し、共に在り、共に歩んで行ける、無理のない関係を築けるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居様の体調や様子を細かくお伝えし、御家族様の不安や心配事を伺い、ケアの方向性を一緒に考え支援している。行事を事前にお知らせすることで積極的に参加していただいたり、外出・外泊などのご協力もいただいている。絆を壊さないよう十分に配慮した上で、きちんとした情報を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方の来訪時には、話しやすい雰囲気を作り、会話の橋渡しをしている。又、遠方の方へは手紙の代筆・投函なども行っている。ホーム内の行事の案内(ポスター、広報等)にてご家族の行事同行や、馴染みの店や思い出のある場所等、ご家族と共に出かける要望に沿った個別支援にも力を入れている。ご要望に応じて、一緒に撮った写真の送付も行い、喜んでいただいている。	「気軽に訪問できる事業所作り」「地域との絆」を大事にしており、家族の協力も含め、自宅で正月を過ごしたり、行きつけの美容院等、馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。又、親戚の子の結婚に際し、家族同士の絆作りの記念に世羅高原で四季の花を楽しんだこともある。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事の席は入居者様同士の相性や話しやすさを考えて配置し、食事以外の時間にも孤立を防ぐため、ソファの配置などリビングの環境にも配慮している。合同遊びリテーションを行ったり、各棟行き来し、各棟関係なくより良い人間関係作りのため、職員がコミュニケーションの間に入り意思疎通の手伝いをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	継続的な関わりを必要とするケースは発生していないが、今後必要に応じては柔軟に対応していきたい。契約終了後一定期間をおいて、ご家族様への連絡を行っている。(CD/USB/お手紙など)		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各担当者が中心となって、本人の想いを十分に聞きだせるよう努めている。ご本人様やご家族様が話された内容は記録に残しシート化され、(ライフストーリー)全職員が共有出来るようにしている。今までのライフスタイルに近づけるよう、担当者が立案し、実行をする馴染みの場所等への個別外出支援も行っている。	入居時に「ライフストーリーシート」で利用者の習慣や好み等の情報を共有し、その後はその方の気持ちを大事にしながら、ゆっくり話す時間を作り行動を理解する様努めている。全職員が全利用者の情報共有できる体制にある。昔ペットを飼っていた利用者にペットショップ巡りを立案し外出支援に繋げた例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族様からの情報提供を基に、基本情報やアセスメントシートを作成・活用し、ほぼ把握できている。馴染みの方々からも、詳しい情報を頂き、生活場面や御本人様とのコミュニケーションの中からの把握にも努めている。人生史も重視し、サービスに繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	出勤時職員は、入居者様全員の情報収集を義務化している。日常生活記録と個別記録を主として毎日の様子を記録し、フロアにこだわらず全職員が現状を把握・臨機応変に対応できるよう体制を整えている。担当にこだわらず入居者様全員の現状把握に努めている。終末期の方へは、出退勤時に訪室させて頂き、声掛けやスキンシップを行っている。全職員で日々を大切に過ごして頂けるよう、学ばせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメントを行い、ご本人やご家族様・関係者と話し合いの上、カンファレンスで全職員から長所・短所や課題を抽出しニーズに添ったケアプランを立てている。1ヶ月おきにモニタリングを行う。見直しでは、全職員から意見やアイデアを出し合い、それを元に課題を抽出している。</p>	<p>担当者会議で担当職員以外の職員からも情報を集約して立案し、家族の同意を得て本案としている。介護計画の実行項目一覧表等も活用し、担当職員が毎月モニタリングを行い、作成担当者が1年を基本に計画を見直す。マラソン好きな利用者に家族の協力や杖での外出で活動性を上げ、温品駅伝の応援に繋げた例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常生活記録・個別記録を主な記録とし、心身状態の変化・プラン実施状況・生活状況・会話等を詳しく記録に残している。職員は記録を共有し、ケアプラン作成やモニタリング、見直しに反映させ活用している。ケアプランの実行項目はフロアごとに簡素化して一覧にし、それぞれのニーズやサービス内容を全職員が把握できている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>既存サービス外と思われるニーズに対しても可能な限り対応している。個別外出支援をはじめ、外泊時など突発的な出来事が発生した場合や、希望先への受診など、柔軟な支援を心がけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のマラソン大会の応援、馴染みだった店や場所に積極的に出かけている。また、近くの公民館も定期的に利用し、喫茶店等、外出ランチも行っている。消防署からは消防・避難訓練を実施して頂き、指導・アドバイスを受けている。地域の医療機関へも安心して受診し、住み慣れた場所での豊かな暮らしを目指している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>運営母体のクリニックを主治医にされている利用者様がほとんどだが、本人とご家族の希望で、他の病院を希望されている場合もある。いずれの場合も本人とご家族の要望に沿った医療が受けられるよう、連携を図り想いに添えるようにしている。</p>	<p>利用前の主治医の受診継続も可能だが、殆どの利用者は協力医を主治医とし、協力医から月2回往診、専門医の受診は家族又は職員による。医療連携により月2回訪問看護師の来訪があり利用者の健康状態を把握している。又、基本週1回の協力歯科医による往診と相俟って適切な医療が受けられる体制となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	2週に一度の訪問看護で健康管理が行われている。又、24時間いつでも連絡が取れる体制になっている。常時看護師と連携を図り、症状に合わせた適切な受診や看護を支援し、医療面での協働を保っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には安心して入院生活を送っていただける様、また早期の退院に向け、ご本人ご家族様、医療関係者と話しあう機会をつくり、連携に努めている。入院実績のある病院からもご協力頂き関係づくりは良好と思われる。救急時にもスムーズな受け入れで対応して頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期指針と称し、ご家族・主治医・関係者が話し合い、方針を共有し、書面にて事前確認させて頂いている。本人とも可能な限り早期に話し合いの場を持つようにしているが、判断決定には及んでいない。対象の方にはどのように支援していくのか、職員は状況を把握・共有し、地域関係者と状況を共有、チーム支援へと繋いでいる。	利用開始時に「看取りに関する指針」等を説明し意向確認を行い、利用者や家族の要望があれば看取りを行なう方針である。マニュアル・研修も整備され、看取り対応の際は医師・家族・関係者で話し合い、指針に沿った支援を行う考えであり、好きなカーブの放送を流す等、最期までその方の思いに沿う姿勢がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員が定期的に法人内外研修にて学習し、慌てることなく急変時の迅速な対応へとつないでいる。昨年度は近隣の公民館にて職員は地域の皆様と一緒に普通救命講習を受講。緊急時の搬送先としてご家族様に受診歴のある医院の情報提供にご協力頂くことで安心あるスピーディーな対応を心掛ける。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	グループホーム内での災害時避難訓練は定期的に行われている。運営推進会議を通し、防災・災害時の対策について、隣接の特養をはじめ、2町内会との地域で地域を支える協力体制を築いている。自主消防避難訓練として、時に入居者様も参加頂き、より現実的な避難訓練が行えている。	消防署立会いの下、年2回の定期訓練の他、自主訓練を夜間想定、利用者参加にて行っている。地域との協力体制についても運営推進会議の開催日に避難訓練を行い、町内会長を介して事業所が緊急退避場所として利用も可能な旨を伝え、又、今夏の豪雨災害時にも罹災者に事業所の浴室を開放した経緯がある。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊厳の保持を念頭に置いた言葉かけや対応をしている。人生の大先輩として敬うことをケア場面にて徹底し原則としている。尊厳とは「その人(介護人)の心にある」と研修で学び実践している。	接遇研修等で職員の幅広い知識習得と資質向上を図る体制もあり、職員も利用者目線で対応し尊厳に配慮出来る様取り組み、職員間で注意し合える関係性もある。起床後の布団の片付けやポータブルトイレを布で覆う等、プライバシーへの配慮がある。又、申し送り時等における個人情報の取り扱いにも留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の思いや感情を自由に表出できるように雰囲気作りを行い、コミュニケーションの工夫を図っている。その人らしい生活を支えるための知識・技術を学び、人的・物的両面から自己決定ができるよう想いを汲むことを重ねている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限りその方の生活リズムやペースに添えるよう支援している。本人の思いを汲み取り、寄り添いのケアに力を入れている。起床、就寝、食事、入浴等、個別に支援し一斉化は行われていない。いつでも無理をしない、させないを念頭に置いている。個別ケアを重視したケアプランを作成し、全員が周知し、それに沿ったサービスを行い、その人らしさを大切に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に一度訪問理美容にて、その方の好みの整容がされている。他、行きつけの美容院を利用されている方もいる。口紅や髪留めにておしゃれを楽しまれている。いつでもご家族や友人に会ったり、外出できるように、日々おしゃれや美容にも本人様の自己決定に可能な限り添えるようにしている。季節感を損なわない身だしなみに配慮支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付け、配膳・下膳、食器洗い、お盆拭きを入居者様と共に行っている。旬の物を取り入れ、季節を感じながら楽しい食卓の雰囲気作りをしている。また食事の時の座位やテーブルの高さ、距離が適切になるよう細やかに支援している。買い物も同行してもらっている。職員は毎日お茶の時間を一緒に共有している。	三食とも宅配業者の献立により調理された食材が運ばれ、事業所で加熱・盛り付けを行う。鍋等の行事食で好みを反映し、食事形態も刻み等で対応可能であり、利用者にも食器洗い等の手伝いをしてもらっている。高さの異なる数種のいすや汚れる事を前提としたエプロンは使わない等、環境面にも配慮している。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>看護師との連携を図り、連絡、相談を行い、食が進まない入居者様には全職員で協力し合いアイディアを出しながらご本人様の食べたい物・飲みたい物を見つけ、提供している。水分摂取の重要性について、全職員が理解し、適切な量を摂取できるよう取り組んでいる。水分が進まない入居者様はこまめに提供したり、栄養補助食品も導入し提供している。TPOと個別性を重んじている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>訪問歯科による歯科研修を定期的に行い、正しい口腔ケアを全職員が学んでいる。本年度より、口腔ケア加算導入にて月一回の申し送りが入ったことで、さらに細かなところまで情報共有が可能になったことと医療連携強化につながった。取り組みに沿って毎食後、入居者様の状態に合わせて口腔ケアの声かけ・介助を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンや習慣を把握し、基本的におむつを使用しない。紙パンツもできるだけ使用せず、布パンツでの対応をしている。自立支援と並行し、気持ちのよい排泄を目指している。定期的な排泄誘導を行い尿漏れや失禁に注意している。</p>	<p>排泄記録表から排泄パターンを把握し、トイレ誘導を基本としている。ここでは特殊な手すりを設置し、便座に座って倒した手すりに寄りかかり、腹部に力を入れ自力で排便し易くしたり、紙パンツから布パンツへの移行や夜間排泄時の転倒防止の為、ベッド周辺に赤外線離床センサー等、自立支援に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>医師、看護師と連携をはかり、便秘予防、対応、対策を行なっている。食後のトイレ誘導や水分摂取への気配り他、適度な運動を取り入れて対策している他、腹部マッサージを行い自然排便を促している。午前中の体操も日課として行われている。繊維質の食物やヨーグルトなど毎日欠かさず提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>可能な限り、希望に添った入浴の支援に努めている。職員の数・性別は限られているが、出来る限り同性の職員が介助を行えるよう、当日の職員が連携をとり、心身ともに気持ちの良い入浴支援に取り組んでいる。時間や曜日の取り決めは行わず自由に入浴して頂いている。複数同時の仲良い入浴も働いている。各フロアで浴室の構造が異なるため、気分転換を兼ねてフロアを変わっての入浴も実施している。</p>	<p>週2～3回の午後入浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣により柔軟に関わっている。入浴は前屈みの座位を取りやすい据え置き式家庭浴槽で、浴槽に移乗し易い可動式入浴台や浴槽台等を設置して支援をしている。法人内の独自の研修体制で入浴介助力を高め、柚子湯等で寛ぎ、保湿剤で皮膚管理も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	入居前の生活スタイルを崩さな いよう、起床・就寝時間を可能 な限りご本人様の要望に合わ せている。日中も体調に合わせ た午睡や、居室で休んで頂け るようその方のリズムを大切に している。夜間の安眠が確保さ れるよう、寝具類の調節、布団 干し等こまめに行うなど、居 室の環境整備も希望に沿って 支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	職員は定期往診情報・内服薬リ スト・アセスメントシート・薬 一覧表などを基に状況の把握に 努め、職員間での連携を密にと り、症状の変化を見逃さないよ うにしている。服薬管理には意 識の徹底を図り、複数にて慎 重な対応をしている。医療との 連携は密に行われている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	台所仕事(調理補助)や洗濯事 務・お盆拭き・習字・歌を唄う ・好物やノンアルコール飲料を 飲みに行く、動物と触れ合いに ペットショップに行く、畑仕事 ・花や野菜の手入れ収穫など、 入居前にされていた趣味や得意 だったことをご本人やご家族か らお聞きし、入居後も継続して 気分転換を図れるよう想いに沿 っている。また、習慣としてい るお散歩を通して、季節を感じ たり、地域の方達とのふれあい を楽しんで頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。	個別支援として、ご家族様や地 域の方にご協力を頂き、それぞ れの要望に沿った場所(ペット ショップ、ご家族様と飲食店な ど)へ行き、個別性の強い外出 支援に取り組んでいる。これは 毎月の行事参加に希望されな かった方へは特にご希望に沿 っている。ご家族様や地域の方 にご協力を頂き、定期的に外 出される方もいる。近隣への散 歩は日常として行っている。施 設として、年1回の旅行行事に て非日常が叶えられるよう支 援している。	日頃から目的をもって近隣散歩 をしたり、スーパーに買物に出 かけている。初詣・花見等の季 節行事、毎年恒例の一泊旅行、 とんど祭り等の地域行事等、 普段は行けないような所へ外 出し、「非日常」を楽しむこと もある。毎月の行事に参加希 望されなかった方はペットショ ップ巡り等の個別外出支援に 繋げている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	希望や能力に応じて、ご家族 了承の上、ご本人に管理して頂 いている。必要に応じて買い物 ができるよう、ご家族にも協 力を仰いでいる。おやつや買 出しなど、ご本人が選んで購 入、精算される場面もよくあ る。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望に沿って電話の取次ぎを行っている。手紙や年賀状等の代筆・一緒にポストまで行き、投函も行っている。お便りの返信時など(ご本人直筆)には、負担にならない程度のアドバイスをさせて頂き関係を壊さないよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に応じた書道や作られた作品を展示などをし季節感を楽しんでいる。また、馴染みの空間作りができるように、利用者様が利用されるものや家具の配置をあまり変えないようにしている。その他、好きな音楽を流したり、嗜好に合った物を用意し、落ち着ける空間づくりを演出している。アロマエッセンスを活用した香りによる環境整備にも努めている。	書道の先生をしていた利用者を書いて頂いた正月・クリスマス等の行事案内や飾り付けで季節を感じてもらい、普段は落ち着いたBGMの中での昼食だが、日曜日には人気ののど自慢番組で盛り上がっている。又、職員の手作りアロマ芳香剤で寛ぎの空間を醸し出す等、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	一人一人がお気に入りの場所で、気の合う方と楽しく過ごせるよう家具の配置など工夫している。又、利用者様の希望により家具や席の配置を変更することもある。特にソファでは思い思いの休息をされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内の家具や持ち物をご本人様の使いなれた馴染みの物をお持ちいただくようお願いし、なるべく入居前のお住いに近い形で、心地よく安心して生活して頂けるよう取り組んでいる。ご家族様の要望もとり入れ、心地よい個室作りを目指している。	居室にはベッド・エアコン等が備え付けられ、タンク・加湿器等、使い慣れた物や家族の写真・仏壇等、好みの物を持ち込み、居心地よく過ごせる様にしている。又、利用者によっては夜間排泄時の転倒防止のため、ポータブルトイレや赤外線離床センサーを設置し、拘束廃止に向けた側面支援を行う時もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレや居室に目印をつけ、わかりやすくしている。利用者様が使うものの配置を固定し、いつでも使用して頂けるようにしている。浴室は入浴台の配置やシャワーチェアを変えることで、利用者様一人一人に合った入浴方法にしている。又自立支援を念頭に、安心安全な入浴介助(研修部発信)を行い、本人様ができることは安易に手出しせず、待つ姿勢と見守りを基本としている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	経営理念（高品質、誠実、謙虚、向上心）、行動指針、好縁会生活づくり10カ条を基に、管理者と職員はその意図を共有し実践している。事業所内目標として接遇面や相互に思いやる心を育むことに力を注ぎ、事業所全体のスキルアップとサービスの質へ反映させている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	2か所の町内会へ入会し、季節ごとの地域の祭りや催し物に参加している。隣接する特養と夏祭りを開き、地域住民の方より好評を得ている。GHやすらぎ温品独自の行事でもポスター等で地域の方に呼びかけをし、地域住民参加型の行事が、築けている。畑の手入れも近隣の住民・農協との関係構築ができており、ご指導を助けに、ご利用者様と共に行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	中国新聞にて、BPSDや認知症予防についての取材を受ける。GHやすらぎ温品での取り組みを事例を公表し、地域住民のみならず、世間一般の方々に対して認知症に対する対応を広めた。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、事業所の状況・提供しているサービス内容について報告している。入居者様の日常の様子を写真やTV上映で見てください、参加者との話し合いの機会を設けている。また、会議内で消防避難訓練を行い、ご意見・ご要望など、早急に対処・改善に努め、サービスの向上を心がけている。年期を1年とし、利用者代表として3名の入居者様も会議に参加・意見を頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	東区温品出張所がすぐ近くにあり、行政への届出書類など不明な点は積極的に相談に伺い、適切なアドバイス・指導を受けるなど協力関係が築けている。又、出張所で処理扱いできない用件は市町へとりついてもらい、サービスの取り組みを伝えている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止・虐待防止委員会、事故対策委員を設置し、定期的に全員が研修を受講。研修を基に委員会活動をし、発信・実行している。個別状況に応じたミーティングは必要時に開催し、意識の徹底と周知を行っている。玄関の施錠に関しては、夜間のみ防犯として施錠している。ベッド柵やセンサー、車椅子等、定期的に点検を行っている。また、事業所内に身体拘束排除宣言の指標を掲げている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>身体拘束廃止・虐待防止委員会を設置、その他、研修委員、事故対策委員、の3つに委員会参加型の合同会議を行い、内容としては、毎月の目標テーマを決め、取り組んでいる。3つの委員会参加により幅広い視点から議題や対策に取り組める。結果内容は、緊急回覧にて全職員で周知徹底、防止に努めている。職員のストレスから虐待に繋がらないよう、職員のストレスケアにも定期的な個別面談を中心に目を向けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>精神障害者や成年後見制度について職員は研修にて理解し、活用できるよう支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書や重要事項説明書に基づいて、利用者様、御家族様の十分な説明を心掛けている。変更が生じた場合も、その都度説明し、書類をお届けしている。不安や疑問点についてももしっかり伺い、説明をし、ご理解頂ける様にしている。誠意を持って迅速に対応出来るように心がけている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年2回の家族会を定期開催し、要望や意見を運営に反映させている。入居者様とは細やかなコミュニケーションを心がけ、どの職員とも話しやすい雰囲気作りをし、機会を見逃さないようにしている。御家族様の面会時は積極的に声かけを行い、意見や要望を見落とさないようにしている。気持ちの良い挨拶等、話しやすい雰囲気作りにも努め、忌憚のないご意見を頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的にフロアミーティングを行い、業務に関する意見や改善点を話し合う。その議事録を回覧し、全職員で共有している。意見や改善・疑問点等をあらかじめ全職員に提出してもらい、ミーティングの議題として反映させている。ミーティング以外で気づき等あれば、職員個別BOXへメモを投函し、話し合いの場へと繋いでいる。反映の場の拡大も親睦会などを通じ話し合いを行い、意識向上としている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員が年度目標(チャレンジシート)を作成し、目標達成に取り組んでいる。また、評価表にて各職員の努力や実績を評価している。四半期ごとの個別面談では、進捗状況に合わせた課題を出し、意欲の向上へと努めている。また、管理者面談の他にフロアリーダーは職員の悩みや不安な思いをいつでも傾聴し、職員への理解を示し、ワンランク上の考え方を習慣付け、プロとしての成長をサポートしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内研修では、個々のスキルアップを目的に管理者指示のもとに参加している。法人外研修については、興味がある分野・内容を個人で調べ積極的に参加している。又、研修費補助や勤務内研修が認められ、参加しやすい体制が整っている。無理のない範囲で積極的に研修に参加する意識が芽生えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	内外の研修をきっかけに、他事業所の方と意見交換をする機会が持てた。同業者からの見学・問い合わせも受けている。ネットワークづくりについては、法人は3つのエリアに分類され、エリアごとのGHが一同に集まり、質の向上に向けての会議など行っている。また、お互いに切磋琢磨しあえるよう、広報コンテストやグッジョブコンテストなどで事業所の良いところを参考に吸収・向上している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に管理者・看護師が事前訪問し、関係作りをしている。ご本人様の不安や想いを可能な限り受け止め、少しでも不安を取り除けるよう努めている。アセスメントした情報を全職員で共有し、安心感を持って頂ける様チーム一丸となり、より良い関係作りに努め、安心感を持って頂けるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>御家族様の不安やご要望など十分に話を伺い、誠意を持って受け止め、安心してサービスを受けて頂けるよう努めている。毎月、ホームでの様子を収めた写真入りのお手紙や二ヶ月に一回、日々の写真を多く撮りいれた独自の広報誌を郵送、さらに年度毎には全ての御家族様へホームでの写真データをお渡ししている。ホーム遠方の御家族様へは郵送や電話連絡をしている。生活状況の伝達を行うことを約束し、信頼関係の構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>居宅支援事業所と協力連携を図り、他のサービス利用情報も可能な限りお知らせできるように努めている。又、協力機関からの有力情報やアドバイスを受け、見極めに反映させている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>可能な限り共に過ごし、寄り添い、入居者様が自分らしく、主体性のある生活を送っていただけるよう、気兼ねを抱かせないいつでも感謝の心を大切にしている。まずは挨拶から始まり、ご利用者様一人ひとりを意識し、共に在り、共に歩んで行ける、無理のない関係を築けるように努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>入居者様の体調や様子を細かくお伝えし、御家族様の不安や心配事を伺い、ケアの方向性を一緒に考え支援している。行事を事前にお知らせすることで積極的に参加していただいたり、外出・外泊などのご協力もいただいている。絆を壊さないよう十分に配慮した上で、きちんとした情報を伝えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの方の来訪時には、話しやすい雰囲気を作り、会話の橋渡しをしている。又、遠方の方へは手紙の代筆・投函なども行っている。ホーム内の行事の案内(ポスター、広報等)にてご家族の行事同行や、馴染みの店や思い入れのある場所等、ご家族と共に出かける要望に沿った個別支援にも力を入れている。ご要望に応じて、一緒に撮った写真の送付も行い、喜んでいただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事の席は入居者様同士の相性や話しやすさを考えて配置し、食事以外の時間にも孤立を防ぐため、ソファの配置などリビングの環境にも配慮している。合同遊びリテーションを行ったり、各棟行き来し、各棟関係なくより良い人間関係作りのため、職員がコミュニケーションの間に入り意思疎通の手伝いをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	継続的な関わりを必要とするケースは発生していないが、今後必要に応じては柔軟に対応していきたい。契約終了後一定期間において、ご家族様への連絡を行っている。(CD/USB/お手紙など)		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各担当者が中心となって、本人の想いを十分に聞きだせるよう努めている。ご本人様やご家族様が話された内容は記録に残しシート化され、(ライフストーリー)全職員が共有出来るようにしている。今までのライフスタイルに近づけるよう、担当者が立案し、実行をする馴染みの場所等への個別外出支援も行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族様からの情報提供を基に、基本情報やアセスメントシートを作成・活用し、ほぼ把握できている。馴染みの方々からも、詳しい情報を頂き、生活場面や御本人様とのコミュニケーションの中からの把握にも努めている。人生史も重視し、サービスに繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	出勤時職員は、入居者様全員の情報収集を義務化している。日常生活記録と個別記録を主として毎日の様子を記録し、フロアにこだわらず全職員が現状を把握・臨機応変に対応できるよう体制を整えている。担当にこだわらず入居者様全員の現状把握に努めている。終末期の方へは、出退勤時に訪室させて頂き、声掛けやスキニップを行って全職員で日々を大切に過ごして頂けるよう、学ばせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	アセスメントを行い、ご本人やご家族様・関係者と話し合いの上、カンファレンスで全職員から長所・短所や課題を抽出しニーズに添ったケアプランを立てている。1ヶ月おきにモニタリングを行う。見直しでは、全職員から意見やアイデアを出し合い、それを元に課題を抽出しをしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日常生活記録・個別記録を主な記録とし、心身状態の変化・プラン実施状況・生活状況・会話等を詳しく記録に残している。職員は記録を共有し、ケアプラン作成やモニタリング、見直しに反映させ活用している。ケアプランの実行項目はフロアごとに簡素化して一覧にし、それぞれのニーズやサービス内容を全職員が把握できている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	既存サービス外と思われるニーズに対しても可能な限り対応している。個別外出支援をはじめ、外泊時など突発的な出来事が発生した場合や、希望先への受診など、柔軟な支援を心がけている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のマラソン大会の応援、馴染みだった店や場所に積極的に出かけている。また、近くの公民館も定期的に利用し、喫茶店等、外出ランチも行っている。消防署からは消防・避難訓練を実施して頂き、指導・アドバイスを受けている。地域の医療機関へも安心して受診し、住み慣れた場所での豊かな暮らしを目指している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	運営母体のクリニックを主治医にされている利用者様がほとんどだが、本人とご家族の希望で、他の病院を希望されている場合もある。いずれの場合も本人とご家族の要望に沿った医療が受けられるよう、連携を図り想いに添えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	2週に一度の訪問看護で健康管理が行われている。又、24時間いつでも連絡が取れる体制になっている。常時看護師と連携を図り、症状に合わせた適切な受診や看護を支援し、医療面での協働を保っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には安心して入院生活を送っていただける様、また早期の退院に向け、ご本人ご家族様、医療関係者と話しあう機会をつくり、連携に努めている。入院実績のある病院からもご協力頂き関係づくりは良好と思われる。救急時にもスムーズな受け入れで対応して頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期指針と称し、ご家族・主治医・関係者が話し合い、方針を共有し、書面にて事前確認させて頂いている。本人とも可能な限り早期に話し合いの場を持つようにしているが、判断決定には及んでいない。対象の方にはどのように支援していくのか、職員は状況を把握・共有し、地域関係者と状況を共有、チーム支援へと繋いでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員が定期的に法人内外研修にて学習し、慌てることなく急変時の迅速な対応へとつないでいる。昨年度は近隣の公民館にて職員は地域の皆様と一緒に普通救命講習を受講。緊急時の搬送先としてご家族様に受診歴のある医院の情報提供にご協力頂くことで安心あるスピーディーな対応を心掛ける。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	グループホーム内での災害時避難訓練は定期的に行われている。運営推進会議を通し、防災・災害時の対策について、隣接の特養をはじめ、2町内会との地域で地域を支える協力体制を築いている。自主消防避難訓練として、時に入居者様も参加頂き、より現実的な避難訓練が行えている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊厳の保持を念頭に置いた言葉かけや対応をしている。人生の大先輩として敬うことをケア場面にて徹底し原則としている。尊厳とは「その人（介護人）の心にある」と研修で学び実践している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の思いや感情を自由に表出できるような雰囲気作りを行い、コミュニケーションの工夫を図っている。その人らしい生活を支えるための知識・技術を学び、人的・物的両面から自己決定ができるよう想いを汲むことを重ねている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限りその方の生活リズムやペースに添えるよう支援している。本人の思いを汲み取り、寄り添いのケアに力を入れている。起床、就寝、食事、入浴等、個別に支援し一斉化は行われていない。いつでも無理をしない、させないを念頭に置いている。個別ケアを重視したケアプランを作成し、全員が周知し、それに沿ったサービスを行い、その人らしさを大切に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に一度訪問理美容にて、その方の好みの整容がされている。他、行きつけの美容院を利用されている方もいる。口紅や髪留めにておしゃれを楽しまれている。いつでもご家族や友人に会ったり、外出できるように、日々おしゃれや美容にも本人様の自己決定に可能な限り添えるようにしている。季節感を損なわない身だしなみに配慮支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付け、配膳・下膳、食器洗い、お盆拭きを入居者様と共に行っている。旬の物を取り入れ、季節を感じながら楽しい食卓の雰囲気作りをしている。また食事の時の座位やテーブルの高さ、距離が適切になるよう細やかに支援している。買い物も同行してもらっている。職員は毎日お茶の時間を一緒に共有している。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>看護師との連携を図り、連絡、相談を行い、食が進まない入居者様には全職員で協力し合いアイディアを出しながらご本人様の食べたい物・飲みたい物を見つけ、提供している。水分摂取の重要性について、全職員が理解し、適切な量を摂取できるよう取り組んでいる。水分が進まない入居者様はこまめに提供したり、栄養補助食品も導入し提供している。TPOと個別性を重んじている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>訪問歯科による歯科研修を定期的に行い、正しい口腔ケアを全職員が学んでいる。本年度より、口腔ケア加算導入にて月一回の申し送りが入ったことで、さらに細かなところまで情報共有が可能になったことと医療連携強化につながった。取り組みに沿って毎食後、入居者様の状態に合わせて口腔ケアの声かけ・介助を行えている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンや習慣を把握し、基本的におむつを使用しない。紙パンツもできるだけ使用せず、布パンツでの対応をしている。自立支援と並行し、気持ちのよい排泄を目指している。定期的な排泄誘導を行い尿漏れや失禁に注意している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>医師、看護師と連携をはかり、便秘予防、対応、対策を行なっている。食後のトイレ誘導や水分摂取への気配り他、適度な運動を取り入れて対策している他、腹部マッサージを行い自然排便を促している。午前中の体操も日課として行われている。繊維質の食物やヨーグルトなど毎日欠かさず提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>可能な限り、希望に添った入浴の支援に努めている。職員の数・性別は限られているが、出来る限り同性の職員が介助を行えるよう、当日の職員が連携をとり、心身ともに気持ちの良い入浴支援に取り組んでいる。時間や曜日の取り決めは行わず自由に入浴して頂いている。複数同時の仲よし入浴も勧めている。各フロアで浴室の構造が異なるため、気分転換を兼ねてフロアを変わっての入浴も実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	入居前の生活スタイルを崩さない よう、起床・就寝時間を可能な限 りご本人様の要望に合わせてい る。日中も体調に合わせて午 睡や、居室で休んで頂けるよう その方のリズムを大切にしてい る。夜間の安眠が確保されるよ う、寝具類の調節、布団干し等 こまめに行うなど、居室の環境 整備も希望に沿って支援してい る。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている。	職員は定期往診情報・内服薬リス ト・アセスメントシート・薬一 覧表などを基に状況の把握に努 め、職員間での連携を密にとり 、症状の変化を見逃さないよう にしている。服薬管理には意識 の徹底を図り、複数にて慎重な 対応をしている。医療との連携 は密に行われている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	台所仕事(調理補助)や洗濯仕事 ・お盆拭き・習字・歌を唄う・好 物やノンアルコール飲料を飲み に行く、動物と触れ合いにペッ トショップに行く、畑仕事・花 や野菜の手入れ収穫など、入居 前にされていた趣味や得意だ ったことをご本人やご家族から お聞きし、入居後も継続して気 分転換を図れるよう想いに沿っ ている。また、習慣としてい るお散歩を通して、季節を感じ たり、地域の方達とのふれあい を楽しんで頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。	個別支援として、ご家族様や地 域の方にご協力を頂き、それぞ れの要望に沿った場所(ペッ トショップ、ご家族様と飲食店 など)へ行き、個別性の強い外 出支援に取り組んでいる。これ は毎月の行事参加に希望されな かった方へは特にご希望に沿っ ている。ご家族様や地域の方 にご協力を頂き、定期的に外 出される方もいる。近隣への 散歩は日常として行っている。 施設として、年1回の旅行行事 にて非日常が叶えられるよう 支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している。	希望や能力に応じて、ご家族 了承の上、ご本人に管理してい て頂いている。必要に応じて買 い物ができるよう、ご家族にも 協力を仰いでいる。おやつ の買出しなど、ご本人が選ん で購入、精算される場面もよく ある。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望に沿って電話の取次ぎを行っている。手紙や年賀状等の代筆・一緒にポストまで行き、投函も行っている。お便りの返信時など(ご本人直筆)には、負担にならない程度のアドバイスをさせて頂き関係を壊さないよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に応じた書道や作られた作品を展示などをし季節感を楽しんでいる。また、馴染みの空間作りができるように、利用者様が利用されるものや家具の配置をあまり変えないようにしている。その他、好きな音楽を流したり、嗜好に合った物を用意し、落ち着ける空間づくりを演出している。アロマエッセンスを活用した香りによる環境整備にも努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	一人一人がお気に入りの場所で、気の合う方と楽しく過ごせるよう家具の配置など工夫している。又、利用者様の希望により家具や席の配置を変更することもある。特にソファでは思い思いの休息をされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内の家具や持ち物はご本人様の使いなれた馴染みの物をお持ちいただくようお願いし、なるべく入居前のお住いに近い形で、心地よく安心して生活して頂けるよう取り組んでいる。ご家族様の要望もとりいれ、心地よい個室作りを目指している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレや居室に目印をつけ、わかりやすくしている。利用者様が使うものの配置を固定し、いつでも使用して頂けるようにしている。浴室は入浴台の配置やシャワーチェアを変えることで、利用者様一人一人に合った入浴方法にしている。又自立支援を念頭に、安心安全な入浴介助(研修部発信)を行い、本人様ができることは安易に手出しせず、待つ姿勢と見守りを基本としている。		

V アウトカム項目(Aユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームやすらぎ温品

作成日 H31年3月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2・3	地域活性化に向けた発信力、行動力が未熟。	運営推進会議及び地域ケア会議出席を継続。地域行事への参加。	会議の場で助言や協力活動できる機会を増やす。地域行事にはボランティア紹介や学生(若い世代)の活躍の場を作る。	一年間
2	12	良好な職場環境の継続。	職員一人一人が生き生きとした働きを継続して見られること。	リフレッシュできる時間やストレス発散の機会を提供。休日の充実。面談機会を三月に一回。	一年間
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。